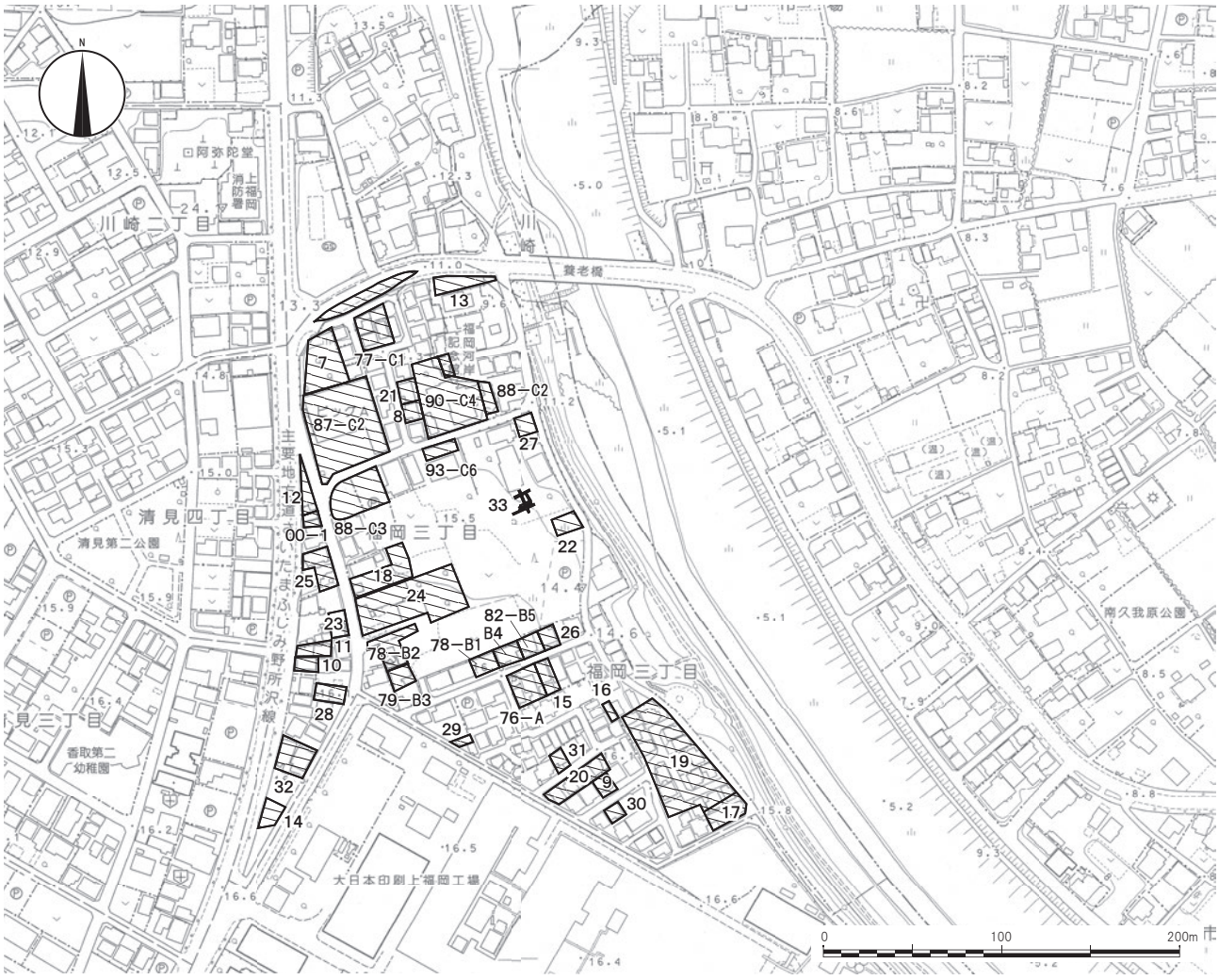
第３章　ハケ遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

ハケ遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面のいわゆる川崎台の東側付け根に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。遺跡の北側は落差２ｍ程度のゆるい斜面を形成し、小支谷が入る。標高は 14 ～ 16 ｍで、遺跡の範囲は南北 360 ｍ、東西 160 ｍ以上ある。宅地開発が進むが、中央部には畑が残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の北側に旧石器、縄文、古墳～奈良・平安時代、中近世の川崎遺跡が隣接し、台地続きの南東側に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の著名な上福岡貝塚、権現山遺跡がある。

1976 年以降、宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、2023 年 4 月現在 39 ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は縄文時代前期から後期の住居跡、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡、近世鍛冶遺構（旧福田屋跡）と、2014 年に第 16 地点の発掘調査で、古墳の周溝から 6 世紀の人物埴輪と円筒埴輪多数が出土し、2015 年の第 19 地点でも 新たに 3 基の円墳を検出した。本遺跡は便宜上東西に走る道路によって南側からハケ遺跡Ａ、ハケ遺跡Ｂ、ハケ遺跡Ｃと呼称していたが、現在はハケ遺跡に統一している。



第５図　ハケ遺跡の地形と調査区（1/4,000）

第 7 表　ハケ遺跡調査一覧表

地区 地点	所在地	調査期間 （ ）は試掘調査	開発面積 （㎡）	調査面積 （試掘）	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
76-A	大字中福岡字遠見 1228 ～ 2021	1976.9.11 ～ 16	306		個人住宅	古墳時代住居跡 1、竪穴状遺構、土師器 等	A-1 次	上遺調、 市史資
77-C1	大字中福岡字清見 1480	1977.8.2 ～ 27	1,794		宅地造成	縄文時代住居跡 5、古代住居跡 2、竪穴状遺構、炉跡、土坑、墨書土器 等	C-1 次	ハケ C、 市史資
78-B1	中福岡 1228-40	1978.8.28 ～ 9.10	165		個人住宅	遺構なし、縄文土器	B-1 次	上埋Ⅰ、 市史資
78-B2	中福岡 1181-2	1978.9.11 ～ 25	360		貸家	炉跡、土坑、縄文土器	B-2 次	上埋Ⅰ、 市史資
79-B3	中福岡 1228-37	1979.7.20 ～ 31	166			土坑、縄文土器	B-3 次	上埋Ⅱ、 市史資
82-B5	大字中福岡字遠見 1228-46	1982.5.10 ～ 17	165			溝、縄文土器	B-5 次	上埋Ⅴ
87-C2	福岡 3-2068-1・2	1987.4.16 ～ 5.29	1,900		倉庫付 住宅改築	縄文時代住居跡 11、古代住居跡 4、古代掘立柱建物跡 1、土坑、縄文土器、土師器 等	C-2 次	上埋Ⅹ、 市史資
88-C3	福岡 2-2-1	1988.8.15 ～ 20	627		駐車場	縄文時代住居跡 4、古代住居跡 2、縄文土器 等	C-3 次	上埋 11、 市史資
88-C2	福岡 3-4-2	1988.10.24 ～ 28	60		擁壁改修	縄文時代住居跡 2	C- 試	上埋 11、 市史資
90-C4	福岡 3-2069-1 の一部 （旧福田屋敷地内）	1990.6.20 ～ 9.6 H3.1 月末	500		河岸記念館 管理棟・ 庭造成	旧福田屋柱礎石跡、鍛冶屋建物跡、（礎石・火処・物置跡・粘土遺構）、縄文時代住居跡 8、古代住居跡 3、土坑、溝、縄文土器、土師器 等	C-4 次	H2 上社、 市史資、 上埋 17
		1994.6.10 ～ 1.31	54					
93-C6	福岡 3-1189、2065-2	1993.5.6 ～ 18	141.91		個人住宅	土坑、縄文土器	C-6 次	上埋 16
00-1	福岡 3-1184-8	2000.1.26	100		個人住宅	遺構遺物なし	C- 試 (2)	上埋 22
7	福岡 3-2	(2006.7.10 ～ 22)	666	(130)	宅地造成	縄文時代住居跡 3、古代住居跡 4、集石土坑、土坑、溝、井戸、縄文土器、須恵器 等	C-7 次	市内 3・13
	福岡 3-1479-1	(2013.8.10・11) 2013.8.21 ～ 11.11	712.35	(34.7) 520	分譲住宅			
8	福岡 3-2069-9	(2009.3.17)	99	(11)	個人住宅	縄文時代住居跡 1、溝、縄文土器 等	C-8 次	市内 6
9	福岡 3-1257-7、1259-1	(2010.2.2 ～ 4)	120	(30)	個人住宅	土坑、縄文土器	C-9 次	市内 8
10	福岡 3-1363-14	(2011.4.22)	122.1	(37)	個人住宅	溝、遺物なし		市内 14
11	福岡 3-1363-11	(2011.4.21・22)	157.7	(30)	分譲住宅	屋外埋甕、縄文土器		市内 14
12	福岡 3-1472-1	(2012.9.24)	122	(22)	分譲住宅	ピット、縄文土器 等		市内 15
13	福岡 3-1484-1	(2013.10.3)	183	(2.5)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 18
14	福岡 3-1363-15	(2013.11.22)	144	(15.5)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 18
15	福岡 3-1228-19	(2014.4.8・9)	184.09	(64.7)	分譲住宅	土坑、縄文土器片		市内 20
16	福岡 3-1254-7・14・17	(2014.8.11 ～ 9.2) 2014.9.3 ～ 9	68	(26.25) 19.36	分譲住宅	古墳 1、人物埴輪、円筒埴輪、縄文土器 等		市内 20・21
17	福岡 3-1219-1・2	(2014.9.26 ～ 30)	98.58	(50.4)	分譲住宅	溝、縄文土器 等		市内 20
18	福岡 3-1182、2066-5	(2014.12.4 ～ 10) 2015.1.6 ～ 16	510.67	(107.85) 64	分譲住宅	縄文時代住居跡 1、土坑、溝、縄文土器		市内 16・20
19	福岡 3-1222-1、 1223 ～ 1225、1255	(2015.4.2 ～ 5.11・10.13) 2015.6.2 ～ 9.19	2,296	(572.6) 885	宅地造成	古墳 3、礎石建物跡 1、溝、ピット、象形・円筒埴輪、縄文土器 等		市内 21・22
20	福岡 3-1252-1	(2015.10.14 ～ 16) 2015.10.29・30	375	(90.4) 33	分譲住宅	堀跡、土坑、火工廠境界杭、ピット、土師器		市内 21
21	福岡 3-1193-4・15、 2069-10	(2016.1.5)	101	(20.2)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 22
22	福岡 3-2061-3 の一部	(2016.12.26 ～ 2017.1.19・9.11) 2017.1.25 ～ 2.8	249.32	(116.65) 40.5	はけ自治会 集会施設	古代住居跡 1、土坑、ピット、縄文土器 等		市内 24
23	福岡 3-1183-1 の一部	(2017.7.18)	137	(14.27)	個人住宅	ピット、縄文土器		市内 24
24	福岡 3-1178-1、 1179-1、1180-1、 1181-1、2066-2、 2067	(2017.7.19 ～ 27) 2017.7.28 ～ 8.7	1,702.15	(446) 63.75	宅地造成	縄文時代住居跡 1、竪穴遺構、土坑、集石土坑、ピット、縄文土器 等		市内 23
25	福岡 3-1184-5・6	(2018.6.12)	297	(68.27)	分譲住宅	遺構遺物なし		市内 25
26	福岡 3-1228-48	(2019.6.25・26)	135	(41.13)	分譲住宅	土坑、溝、墨書土器、須恵器、紡錘車		市内 25
27	福岡 3-2061-2	(2020.3.25 ～ 27)	226.22	(61.8)	共同住宅	遺構なし、縄文土器 等		市内 25
28	福岡 3-1363-7	(2020.9.10・11)	157.79	(46.75)	事務所	溝、縄文土器 等		市内 26
29	福岡 3-1249-3	(2021.8.5)	50.81	(6.6)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 27
30	福岡 3-10-9	(2021.10.27)	101.84	(14.2)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 27
31	福岡 3-1252-16・23	(2022.7.12)	84	(9)	分譲住宅	遺構遺物なし		市内 28
32	福岡 3-1363-10	(2022.9.5)	296.98	(22.8)	分譲住宅	遺構遺物なし	(2022.6.30) 立会	市内 28
33	福岡 3-2061-1	2023.1.10 ～ 2.10		621		縄文土器、陶磁器 等	旧江戸屋庭園 保存目的の範囲 内容確認調査	市内 28

Ⅱ　ハケ遺跡第 31 地点

（1）調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2022 年 6 月 27 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2022 年 7 月 12 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1m 四方のグリッドを 4 ヶ所設定し、人力による表土除去及び表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 40 ～ 50cm である。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

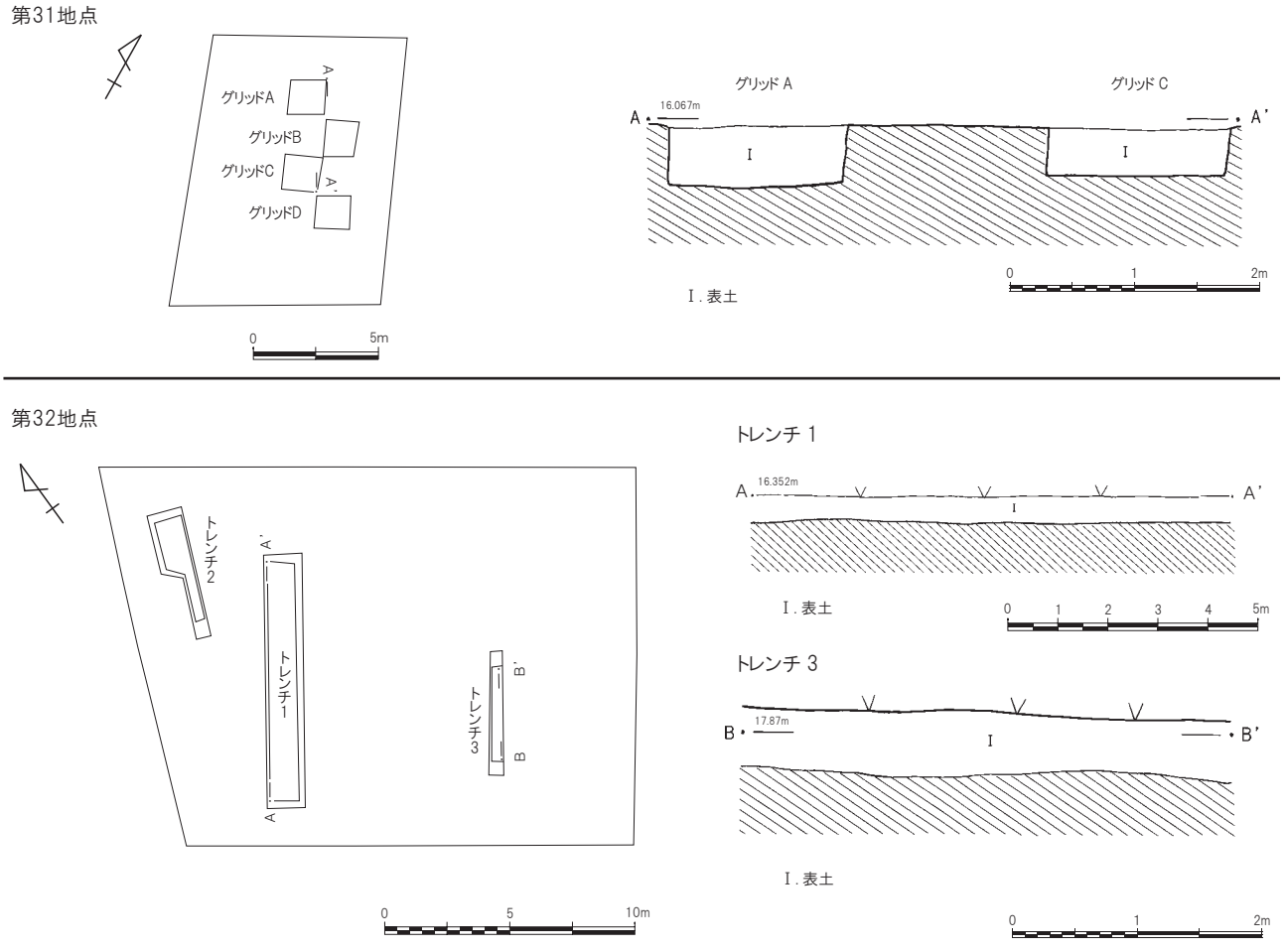
Ⅲ　ハケ遺跡第 32 地点

（1）調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2022 年 4 月 28 日及び 8 月 2 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2022 年 6 月 30 日及び 9 月 5 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は約 1 ～ 1.5m のトレンチを 3 本設定し、重機による表土除去後に人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 40 ～ 50cm である。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。



第 6 図　ハケ遺跡第 31・32 地点調査区域図（1/300）、土層（1/150・1/60）

ハケ遺跡第 31 地点グリッド

ハケ遺跡第 31 地点調査風景

ハケ遺跡第 32 地点トレンチ 2

ハケ遺跡第 32 地点トレンチ 3

ハケ遺跡第 32 地点調査風景①

ハケ遺跡第 32 地点調査風景②